【大島地区総会　住民意見交換会】

宿毛市市街地における河川・海岸堤防の地震津波対策説明会　議事メモ

日　時：平成28年1月31日（日）15:40～16：20

場　所：大島公民館２F

出席者：大島地区住民　35名

○県宿毛事務所より説明（別添資料）

【資料１】宿毛市市街地における河川・海岸堤防の地震津波対策（L2津波シミュレーション含む）

【資料２】松田川及び海岸堤防の地震・津波対策

○質疑応答

Ｑ1：津波対策はよいのですが、常時利用時は？

県 ：陸こうは閉鎖する予定です。通常の利用に対しては、階段やスロープ、フェリー付近は自動化にする等検討しています。今までより不便にはなりますが、代替施設で対応していきたいと考えています。

Ｑ2：大島の橋から向こうに行き来できるところが1箇所しかありません。大変不便です。

　　以前、ｺﾝｸﾘｰﾄで閉鎖しましたが、人が利用しないところに階段を付けて、実際利用しているところには出入り口がありません。閉鎖するだけ。

県 ：大島地区は着手がまだ少し先のため、事前に協議します。

Ｑ3：ゲートも今の高さになるのですか？

県 ：ゲートとして残るところは、堤防と一緒に嵩上げをします。

Ｑ4：大島にはゲートが無くなるということですか？

県 ：閉めることを前提としています。

Ｑ5：今の高さ+50㎝の嵩上げとなると、海が見えなくなるのですが・・・。

Ｑ6：地震発生後どのくらいで津波が到達するのですか？

県 ：社会福祉センターで約20分です。

Ｑ7：大島の橋は大丈夫ですか？

県 ：市が検討しています。

地区 ：予備設計の段階と聞いています。

Ｑ8：耐震は分かりますが、津波にも耐えられるのですか？

県 ：東日本大震災以降、前面及び背面の引き波からの力に対しても設計することとなっています。

Ｑ9：東日本大震災クラスにも耐えられるのですか？

県 ：東日本大震災クラスに対しては設計していません。粘り強い構造にします。

Ｑ10：津波シミュレーションでは 市全体が水没しますが、震災後はどこに指令部ができるのですか？

県 ：市役所の移転は聞いていません。

地区： 消防署に拠点を移すと聞いています。（津波の場合、消防が一番危ないとの声も）

　　　基本的には芳奈の総合運動場が災害対策本部になっています。

Ｑ11：松田川より上流、国道56号は和田まで津波が遡上するのですか？

県 ：正和隣保館の辺りまで来るようになっています。

Ｑ12：松田川の方は？

県 ：篠川合流より少し上流まで遡上しますが、家屋までは到達しない結果となっています。田畑まで。

 （シミュレーションで）着色しているところが、無対策で最大クラスの津波が到達するところです。

地区：今後の設計は、皆さんの要望を取り入れてもらいたいです。

県 ：特にゲートについては、関係者の皆さんと相談しながら調整していきます。

Ｑ13：地盤沈下は1.5mでしたか？

県 ：最大で2.4mとなっています。あくまで想定です。

Ｑ14：想定が一番危険。大島は橋が壊れると孤立しますが、救援物資の保管場所等は考えていないのですか？

県 ：避難場所等は市が検討しています。宿毛湾港が救援物資等の拠点港となっています。

　　孤立の場合は、テレビで見るようなヘリから降ろすイメージになるのではないでしょうか。

Ｑ15：（国民宿舎）椰子までは道路改良しないですか？

県 ：市道となっています。

Ｑ16：大島の着工順序は？

県 ：橋から、椰子の方向に向けてになります。

Ｑ17：どのくらいで完成するのですか？また1年にどのくらい進行するのですか？

県 ： 国の予算次第となります。